

<スポーツアパレル・シューズ市場 調査レポート>

アスレジャー市場規模 870 億円、 日本は韓国の 1/3、中国の 1/4

2017 年 11 月 28 日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

<スポーツアパレル・シューズ市場 調査レポート>

アスレジャー市場規模 870 億円、日本は韓国の 1/3 中国の 1/4

国内の市場規模と消費者購買情報が分かるスポーツアパレル・シューズ市場情報サービス『Japan Sports Tracker ^{※1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社(所在地：東京都港区、代表取締役：トーマス・リンチ)が、アスレジャーに関する市場分析を 11 月 28 日に発表します。

アスレジャーとは、アスレチック（運動）とレジャー（余暇）を組み合わせた造語で、運動着を街着にするファッションのことで、アメリカでは特に広く取り入れられています。

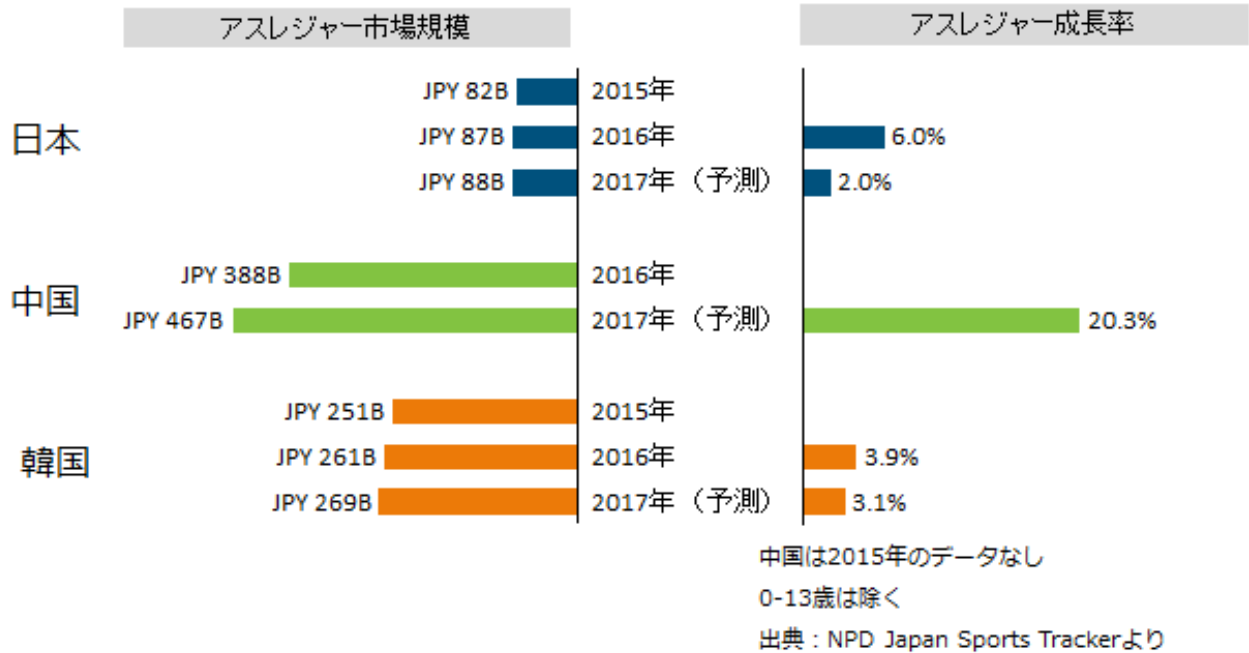
本分析では、日本・中国・韓国におけるアスレジャー市場（0-13 歳除く）を比較し、日本はアスレジャーの市場規模が韓国の 1/3、中国の 1/4 程度しかなく、成長の余地があることがわかりました。

日本・中国・韓国のアスレジャー市場規模

『Japan Sports Tracker』では、スポーツに使われている、またはスポーツ用に販売されているアパレルとシューズの消費者購入動向を継続して毎月調査をしています。2016 年（1 月～12 月計 0-13 歳除く）のスポーツアパレル市場をみると、金額市場規模は 3800 億円、成長率は前年同期比で+5.7%でした。使用用途^{※2}はスポーツ使用が 76.9%、スポーツ以外のカジュアル使用は 23.1%となっています。アスレジャーはこのカジュアル使用を指します。

日本・中国・韓国のアスレジャーの金額市場規模と前年同期比の成長率は以下ようになります（図表 1）。

＜図表1＞アスレジャー 日本・中国・韓国
市場規模比較 成長率（金額単位 B=10億）



3か国のアスレジャー市場の中では日本が1番小さく、2016年は870億円でした。韓国は日本の3倍、中国は4.5倍の規模になります。2016年のGDPは、日本を1とした場合に韓国は0.3、中国は2.3（IMF World Economic Outlook Database 2017年4月版より計算）であることを考慮すると日本ではアスレジャーの市場が浸透していないことがわかります。

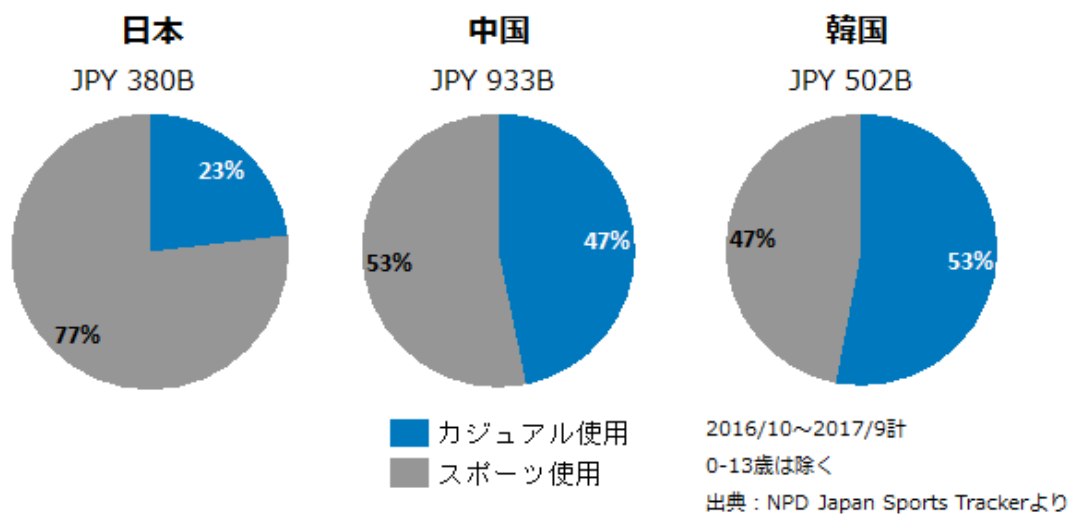
2017年日本のアスレジャー市場規模は880億円の予測です。成長率は2.0%で、中国20.3%、韓国3.1%よりも低くなる予測です。

日本では「カジュアル使い」に伸長の余地

日本のアスレジャー市場規模が小さい原因は、日本ではスポーツウェアのカジュアル使いが定着していないことにあります。

最新の直近1年（2016年10月～2017年9月 0-13歳除く 金額ベース）データによると、日本・中国・韓国のスポーツ使用と、スポーツ以外のカジュアル使用の比率をみると、カジュアル使用は日本では23%ですが、中国では日本の2倍で47%、韓国ではスポーツ使用を上回る53%です（図表2）。

<図表2> スポーツアパレル 日本・中国・韓国
 使用用途別（金額シェア B=10億）

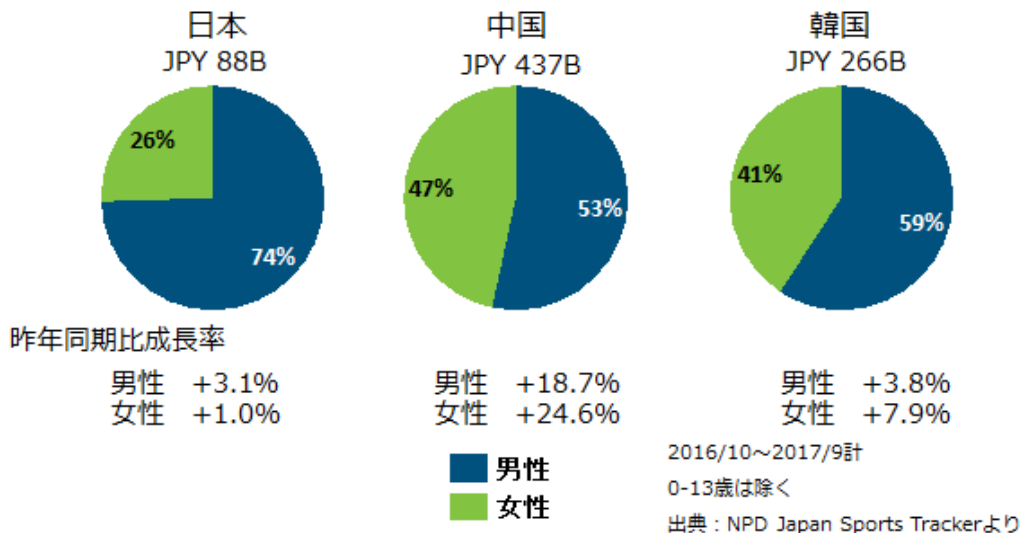


スポーツ使用の市場規模のみを比較すると日本の方が韓国よりも大きいのですが、カジュアル使用では韓国の規模が3倍なので、スポーツアパレル全体の規模は韓国の方が日本よりも大きくなっています。

アスレジャー 日本ではリード役の女性に浸透せず。活性化への鍵は

アスレジャーの着用者男女比を見ると、日本では女性26%、中国では47%、韓国では41%と、他国と比べ日本では女性の比率が低くなっています（図表3）

<図表3> スポーツアパレル 日本・中国・韓国
 カジュアル使用 着用者男女別シェア 成長率
 (金額シェア B=10億)



他方、スポーツ使用の着用者男女比を見ても、他国と比べ日本は女性の比率が低くなっています（特典データ）。更にスポーツ使用では、日本の女性着用者市場はマイナス成長です。

このことから、日本では使用用途を問わず女性のスポーツアパレル全体に占める割合が他国より低くなっています。

日本でもアスレジャーは話題ですが、中国・韓国と比較してスポーツアパレルの使用方法がスポーツの枠を出ておらず、市場規模も小さくなっています。

ファッショントレンドは女性がつくるといわれますが、日本では女性にアスレジャーが浸透していないこともアスレジャー市場が拡大していない理由と思われる。

併せて、アスレジャーのみならずスポーツ使用目的でも女性が占める割合が他国より低く、スポーツアパレルに親しんでいる女性が少ないという状況は、アスレジャーを拡大させたいと考えるメーカーや販売店が注目すべき点です。アスレジャー市場拡大には火付け役となる女性市場の拡大が必要であり、そのためには女性のスポーツ使用拡大にも合わせて取り組んでいく必要があると思われる。

※本内容をご覧の皆様向け特典について（2018年6月末まで）

特典データ「スポーツアパレル 日本・韓国 市場規模 スポーツ使用目的 着用者男女別シェア図表（2016年10月~2017年9月計）」を無料でご提供いたします。ご希望の方は下記お問合せ先フォームにてご連絡下さい。

<https://www.npdjapan.com/contact-us/>

*1 Japan Sports Tracker

スポーツアパレル・シューズ市場における全国の消費者購買行動を時系列で把握できる日本で唯一の消費者パネルデータベースです。市場のトレンドやビジネスチャンス特定し売上を伸ばすために必要な、製品トレンドと消費者動向について包括的な情報が得られます。カテゴリ、ブランド、アイテムレベルで自社製品、競合他社製品のパフォーマンスを分析できます。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/solutions/sports/>

Japan Sports Trackerとは

Japan Sports Trackerは、スポーツアパレル・シューズ市場における全国の消費者購買行動を時系列で把握できる日本で唯一の消費者パネルデータベースです。



Japan Sports Trackerができること

日本国内のスポーツアパレル・シューズ市場における、チャンネル・小売店・製品カテゴリ・ブランドのトレンドを時系列で見えることが可能です。Sports Trackerを使うことで、購入者・利用者属性はもちろん自社・競合・市場全体の動向まで理解することができます。



*2 使用用途

スポーツ使用 = 「スポーツ用のみ」「主にスポーツ用」「スポーツとそれ以外（普段着）に同程度」の計
カジュアル使用 = 「主にスポーツ（普段着）以外」「スポーツ以外（普段着）用のみ」の計

調査データの転載について

本件で公開されている資料につきましては、ご使用用途によりませんが、出典元を明記していただければ、基本
的にご利用いただけます。

表記は「NPD Japan, エヌピーディー・ジャパン調べ」をお願いいたします。

ご使用前には必ず下記の問い合わせ先までご一報ください。

過去のレポートは、下記ページの「プレスリリース」よりご覧いただけます。

<http://www.npdjapan.com/solutions/sports/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：河端 香織（かわばた かおり）

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com

■ 会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000 円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会